

令和5年度小松市立板津中学校 学校評価 1(中間)

めざす児童生徒像

運営理念「人づくり・夢づくり」  
 教育目標「温かな人間関係を基盤とし、地域・社会との関わりを大切にしながら主体的に学んでいく生徒の育成」  
 目指す生徒像・自ら考え判断し、主体的に行動できる生徒(主体性)  
 ・多様性を尊重し他者と協働し、よりよく課題を解決できる生徒(他者理解・協働性)  
 ・社会に積極的に参画したり、貢献したりできる生徒(社会参画)  
 ・自己の生き方を考え、失敗を恐れず夢や目標に挑戦していく生徒(自己理解・将来展望・挑戦)

※児童生徒結果-教員結果・保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	教員・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
				教員	児童生徒	保護者			
( ) 学校の設置重点項目 学校重点項目	自己有用感	②③④の生徒の割合が80%以上	① 将来の夢や目標を持っている。	72	72	72	0	②については80%を下回っており、失敗することはいけない、挑戦することには必要があるという考えをあげていく必要がある。③は差が大きいため、生徒に具体的に役に立っている場面を認め伝える必要がある。④も教員と生徒で若干差が見られる。	②については、学校行事だけでなく授業の中でも挑戦することを意図的に仕掛けていく。③については、人のために役に立っている場面を、教員や他の生徒が認め含める活動を仕組む。④についても教育活動全体で生徒が主体的に取り組みたいと思える活動を設定していく。
			② 難しいけどでも失敗を恐れないで挑戦している。	72	70		4		
			③ 自分は人のために役立っている。	83	67		16		
			④ 学校は楽しい。	89	82	85	7		
			集計	79	74.85	78.5			

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	教員・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
児童生徒共通	働き方や業務の改善	②③の平均が中間…85%以上年度末…90%以上	① 80時間超えゼロに向け、時間外勤務の削減に取り組んでいる。	56	89				
			② 学校組織の中で自分の役割が明確であり、創意工夫しながら取り組むことができている。					②については目標達成を達成している。日頃より個々の役割を意識し、業務を遂行している。①については目標とする数値には到達せず、昨年度より45%下がっている。今年度は新規採用者や他校からの転任者が多いこと、また研修や大会等がコロナ以前の頃のように、開催されていることが要因の一つと考えられる。	組織的な業務運営については引き続き、学年会や教科部会を軸に一層の連携を進めていく。超勤勤務時間を減らし、月1回実施日に「定時退庁日」を設定し、月歴等に明記し、学年主任を中心に声をかけることで、意識改革を図る。

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	教員・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策				
小松市共通重点項目	学校研究	①②③の平均が中間…85%以上年度末…90%以上	① 研究主題に迫る日付付授業スタイルを共有し、単元(授業)構想シートなどの具体的な取組を共通実践している。	63						①、②どちらも目標数値を達成しておらず、特に①に関しては目標数値を大きく下回っている。今年度から赴任してきた教員が多く、また取組を開始した時期が遅かったため、共通実践が十分ではなかったと考えられる。②については、研究授業後の整理会での話し合いの視点を絞ったことで、教員同士での話し合いが活発に行われていた。	①については、2学期以降も単元構想シートの作成と活用を重点取組として継続し、授業改善を進めていく。また、教員で取組を共有し、有用性を実感できるようにする。②については、公開授業等の校内研修を2学期に実施し、教員1人1人が授業改善を一層考える機会を設定していく。		
			② 授業研究では、教職員1人1人が子供の姿を語り、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。	82									
			集計	72.5									
						③ 生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。	70	80	4			③については、教員と生徒との間の数値の差が大きくなっている。教員の求める生徒の姿と、生徒が考える工夫して発表している姿の間に差があると考えられる。	③については、教師がイメージするゴールの姿を生徒と共有し、それを達成するための学習活動を行っている。
						④ 生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。	47	83	36			④については、生徒も教員も授業のみならず生徒会活動や行事等についても、積極的に利用しているため、ICT機器を活用していると考えられている。生徒の学習用端末の利用スキル(タイピングやSKYMEMのアプリの使用方法など)も機身に付いている。	④については、自分で考える時間、話し合う時間を明確に設定し、話し合いの後、再度自分の考えや思いを話したり書いたりして自分の考えを再構築する場面を設定していく。

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	教員・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策				
小松市共通重点項目	指導力の向上	②③の平均が中間…85%以上年度末…90%以上	① 生徒は、話し合う場では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達との考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えを伝えている。	76	87	11				⑤については、授業のねらいや目標を生徒が自ら考え、見直しを持って学ぶことができる授業実践を行う。振り返る場面では、振り返りの視点を示し、本時において、また振り返りを通して目標を達成できているかを確認できるようにする。	⑤については、考え深め合う場の上昇のための効果的なICTの活用に向けて、今後も授業実践を進めていく。また効果的な実践を教員間で共有していく。		
			② 生徒は、振り返る活動の中で、授業の目標に沿って自分の学びの姿を表現したり、学びに対する達成感を得られたりしている。	70	83	7							
			③ 生徒は、オンラインなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用している。	94	88	6							
			集計	75.2	84.8								
						④ 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の表現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。	82.0					小中連携に関しては、今後夏季休業中に情報交換する予定である。学力向上の取組については、研究部と連携しながら全教員で取り組んでいるので、2学期以降は数値が上がる、と期待している。	数値が目標に届かないのは進捗状況の確認不足にあると考えられる。様々な方法で調べた数値を振り返り必要がある。また授業内容を確実に「やり取り」し組織体制を築いている。
						⑤ 生徒や学校、地域の実態を踏まえ教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。	76.0					⑤に関しては、①②に比べて、⑤は進捗が速く、⑤の達成度は高くなっている。	
						⑥ 全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると期待して共通実践に取り組んでいる。	65.0					⑥に関しては、①②に比べて、⑥は進捗が速く、⑥の達成度は高くなっている。	
			⑦ 校内外小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。(小中連携)	44.0			⑦に関しては、①②に比べて、⑦は進捗が遅く、⑦の達成度は低くなっている。						
			集計	75									

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	教員・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
小松市共通重点項目	学力の向上	①②③④の平均が中間…85%以上年度末…90%以上	① 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の表現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。	82.0					
			② 生徒や学校、地域の実態を踏まえ教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。	76.0					
			③ 全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると期待して共通実践に取り組んでいる。	65.0					
			④ 校内外小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。(小中連携)	44.0			④に関しては、①②に比べて、④は進捗が遅く、④の達成度は低くなっている。		
			集計	75					
			① 家庭学習の取組として、学習方法や課題の選り方を校内で共通理解を図っている。	69	52	-17	家庭学習が生徒にとって、主体的に取り組むたいと思える学習内容になっていないことが考えられる。課題の出し方は全学年共通で曜日や教科を割り当てているがその内容について、一層吟味していく必要がある。	全員で共通して取り組む学習内容と自分で課題を設定して取り組む学習内容に分けて取り組めるようにする。学習用端末の持ち帰りについては、Quibonだけでなく生徒にとって必要感のある課題を検討して選択できるようにする。また定期的な持ち帰り活用するよう学年主任や研究主任と連携して確認していく。	
			② 学習用端末を活用した家庭学習に取り組めるよう課題を工夫している。	25	27	2	学習用端末の持ち帰りについては、総合的な学習の時間等で持ち帰ることはあったが、宿題として持ち帰られることは少なかった。		
			集計	63	52				

令和5年度小松市立板津中学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	<p>（魅力ある学校づくりを推進する）</p> <p>○温かな人間関係を築くために、各学期の始まりに、構成的グループエンカウンターワークショップを行う。 ○自己有用感を高めるために、予め友達や自分の良いところを発見しようと促し、行事後に振り返る活動を行う。 ○教職員が生徒の努力や成長の過程を認める声かけを日常的に行う。 ○不登校傾向の生徒に対してスタッフルームを利用しながら、自己決定を大切にし個に応じた成長を促す。 ○各学期に仲間とのつながりアンケートを実施し、いじめなどの未然防止に努める。</p>	<p>・各学期の始まりに、構成的グループエンカウンターを学年の状況に合わせて実施することができた。 ・行事前に各学年の集会などで、友達や自分の良いところを発見しようと促し、行事後に振り返る活動を行った。名前と具体的な内容を振り返りシートに記入して掲示した。 ・不登校傾向の生徒に対しては、スタッフルームや教室を行き来したり、別の相談室を活用したりしながら、個に応じた対応をすることができた。 ・教職員が生徒の努力や成長の過程を認める声かけを日常的に行う意識をより高める必要がある。 ・各学期から隔月（奇数月）に仲間とのつながりアンケートを実施することに変更し、いじめなどの未然防止に努める意識を高めた。2学期はアンケート後の情報共有をより組織的にできるようにしていきたい。</p>	
特別支援教育	<p>（安心して学ぶための個別支援の充実を図る）</p> <p>○専門相談員など専門機関と協力して生徒の現状から将来を見据えて最良の手立てを講じる。 ○校内特別支援委員会を学期に1度は開催し、PDCAサイクルを機能させ支援の充実を図る。 ○生徒理解の会や学年会で生徒の情報交換、生徒理解を深め生徒の実態に即した適切な支援を行う。 ○個別の教育支援計画・指導の記録や教育支援シートを保管し、継続的な支援を行う。 ○ユニバーサルデザインを用いた、生徒が集中しやすい教室設置。誰もがわかりやすい授業を行う。</p>	<p>・6月に校内委員会を開催し、通常学級における個別の教育支援計画作成して支援する生徒と個別の支援シートで対応をする生徒を確認して支援を行っている。 ・支援計画や支援シートを新たに起こす生徒に対して学級担任が懇談会等で支援の方法など保護者と話をし、作成することを今後行っていく。 ・教室黒板上の掲示物を極力見えないようにして前方に集中しやすい教室設置を心がけている。</p>	
道徳教育	<p>（学校全体で、よりよく生きるための基盤となる道徳教育の向上を図る）</p> <p>○毎月心のテーマに沿った道徳を月始めに行い、他学年、他クラスの考えや思いを道徳通信を通じて共有する。 ○学期に1～2回程度、全学年同じ内容項目で「斉道徳」を行い、多様な見方・考え方を交流できる場を設定する。</p>	<p>・毎月心のテーマに沿った道徳科の授業を全学年、計画的に行うことができた。また他学年や他学級の考えや学びを共有するために道徳通信を定期的に発行することができた。2学期も引き続き、多面的・多角的な考えに、届深めるため、授業を通じた交流を継続していく。 ・1学期は一斉道徳を開催することができなかったが、年間指導計画に沿って重点内容項目の教材を扱った授業を行うことができた。</p>	
キャリア教育	<p>（生徒の将来の進路実現に向けて、計画的にキャリア教育を推進する）</p> <p>○総合的な学習の時間、学級活動を中心に、年間指導計画に沿ったキャリア教育を推進する。 ○将来の自身の進路実現に向けて、「勤労観」「職業観」に関わる体験等を行い、自己理解につなげていく。 ○キャリアパスポートを活用し、自身の考え方や内面の変化について知ることができるようにする。</p>	<p>・キャリアパスポートを用いて年度当初に1年後の自分の目指す姿を設定し、そのために何をすべきか自分ごととして考えさせるため、1年間の見通しを持たせた。 ・高校説明会を実施し、3年生は自身の進路実現に向けて、様々な高校の情報を得ていた。</p>	
保健健康教育	<p>（自分の身体や健康に関心をもち、生活習慣の改善を図る）</p> <p>○生徒の専門委員会の活動を通して、生徒が主体的に考え、行動できるように指導・支援を行う。 ○健康診断前後の指導や保健通信等の情報の発信等を通して、自分の健康や生活習慣に関心をもち、健康な体づくりの支援を行う。 ○保健室利用状況等の情報を共有し、生徒の実態把握に努め、養護教諭と担任が連携して生活習慣改善の支援を行う。</p>	<p>・生徒の専門委員会で、歯垢の染め出し、熱中症グッズ、食事のアンケート、夏休み中の生活習慣記録など、生徒が考えた取組を全校で取り組めるよう、指導・支援を行っている。 ・専門委員会の活動は、計画から実施までの時間があまりない中ではあるが、実施できている。 ・毎月、月初めの保健通信の発行で健康診断や健康に関する情報の発信を行っている。2学期からは保健室前の掲示板も活用できるため、掲示物による発信も行っている。 ・保健室利用の状況は、その都度情報の共有を図っているが、今後もOICの記録も活用し、生徒支援を行っている。</p>	
生徒会活動	<p>（生徒会活動を通して、協働して課題解決する力を高める）</p> <p>○生徒会目標を軸に、委員会や学級会などで話し合い、合意形成をする。それを基に行動する場面を設定する。 ○生徒会活動の取組を全校生徒及び教職員に発信していく。また活動に対する振り返りを行い、さらなる向上を目指す。 ○板津サミットを通して小学校との連携を深め、地域全体に生徒会活動の取組を広げていく。</p>	<p>・毎月の生徒集会の準備や運営などを生徒会メンバーを中心に行うことができた。板津ラジオを通して生徒たちの思いを共有し、認め合う雰囲気に繋がっている。 ・執行委員会の運営の見通しが持ておらず、形骸化している。2学期以降は週に一回執行委員会を開催し、各種委員会と業務の調整を行っていく。 ・サミットに向けた計画はアンケートの実施時期の延期を受けてずれてしまっている。今後は夏休み期間中にアンケート結果の分析と全校活動の味、サミットに向けた準備を行っていく。</p>	

学校関係者評価	<p>・学校重点項目については概ね良好と思われる。④は高いが、①～③についても生徒、教員とも8割感えになるよう引き続き取組をお願いしたい。 ・「学校は楽しい」の項目において、生徒、保護者、教員全て80%以上で目標を達成していることが素晴らしい。学校が楽しいということは最も大切なことである。 ・板津中学校の生徒は恥ずかしがらず、挨拶がしっかりできている。必ず挨拶を返してくれる。 ・いつ何が起こるか分からない世の中なので、引き続き防災の意識を高く持ち、小松市の防災講座等を活用し様々な知識を育んでほしい。 ・コロナ禍が過ぎ、更なる多忙が予想されるが、定時退庁を毎週1回を目ざして、一層の働き方改革への取組をお願いしたい。（月1日本曜日・毎週水曜日に） ・目標数値、また生徒・教員間で差異の小さい数値になるよう取組を進めてほしい。 ・時代に合った指導をうけ、そして指導し、PDCAを回し続けていると思った。</p>
---------	--

## 令和5年度 1学期 板津中学校 学校評価 保護者アンケート結果

	Yes	No
1 PTA 総会やその際の資料（教育の指針）などで、学校の方針や取り組みのことが理解できた。	92%	8%
2 学校は行事予定や生徒の活動の様子を学校だより・学年だよりや学校のホームページなどで知らせている。	88%	12%
3 学校は交通安全や危険回避等の指導を適切に行っている。	92%	8%
4 地域で見かける生徒の登下校時の様子（交通マナーなど）は適切なものである。	78%	22%
5 生徒は、地域や学校でよく挨拶ができる。	90%	10%
6 学校は子どものことについての不安や相談に適切に応じてくれている。	91%	9%
7 先生は生徒指導上の問題に対して、きちんと対応している。	91%	9%
8 学校は、家庭学習の指導を適切に行っている。	87%	13%
9 学校と家庭・地域が連携して子どもを育てていると感じている。	96%	4%
	Yes	No
1 子どもは、日常生活の基本的な挨拶はできている。	97%	3%
2 子どもは、時と場に応じた言葉遣いや行動ができるようになってきている。	97%	3%
3 子どもは、社会のルールや学校の規則を守っていると思う。	98%	2%
4 子どもの加入している部活動や校外活動のクラブは、子どもを成長させるのに役立っている。	94%	6%
5 子どもは、朝食を食べて登校している。	96%	4%
6 家庭での親子の会話から、子どもの友人関係や学校での様子をほぼ理解している。	86%	14%
7 家庭での会話の中で、その時々ニュースなどについても触れるようにしている。	80%	20%
8 ネットトラブル防止のために、家庭で時間やルールを決めよく注意をしている。	78%	22%
9 テレビやゲーム、ネット利用のため、家庭学習の時間が不足している。	60%	40%
10 家庭では、子どもと将来の目標や生き方、進路のことなどについて話すことがある。	77%	23%
11 子どもは、将来の夢や目標を持っている。	72%	28%
12 子どもは、学校に行くことが楽しいと感じている。	85%	15%
13 子どもは、自分で計画を立てて勉強している。	62%	38%
14 子どもは、三点固定（①起床時間 ②学習開始時間 ③就寝時間）の生活習慣づくりに取り組んでいる。	61%	39%

### Ⅲ 1学期の平日の平均的な家庭学習時間（塾、家庭教師等があればそれも含む。）

①全くしない	1%
②30分未満	4%
③30分以上1時間未満	10%
④1時間以上2時間未満	77%
⑤2時間以上3時間未満	7%
⑥3時間以上	1%

### Ⅳ 1学期の平日の平均的なテレビや携帯電話、ゲーム、漫画等に費やす時間

①全くしない	0
②30分未満	2%
③30分以上1時間未満	7%
④1時間以上2時間未満	34%
⑤2時間以上3時間未満	41%
⑥3時間以上	16%

IV その他、本校の教育活動における意見・感想等（自由記述）

1 朝の通学の時間帯に自転車で右側通行をしている子がいて危ない。

→年度当初と6月に、全校集会や生徒集会で、自転車の乗り方やマナーを確認しました。2学期も登校指導等で引き続き注意喚起をしていきます。

2 長年、横断歩道が消えている箇所が通学路で危ないので、直してほしいです。

→小松市教育委員会へ報告します。

3 登下校時に名札を外すようになったとのことですが、自転車にフルネームが貼られていることについてはどのようにお考えなのでしょうか。

→学校はステッカー登録により、番号で管理・把握しております。自転車への記名は購入時に行われていることかと思っておりますので、ご家庭の判断にお任せします。自転車に記名がないことについて、学校で指導することはありませんので、ご安心ください。

4 2点あります。1点目は、自転車通学のマナーが気になります。危ないと思うことがあります。2点目は、成長に伴うこともあるかと思いますが、スカートの丈が短い。部活の大会でステージに板津中学校が上がった瞬間、「この学校スカート短くない？」って、隣のお客さんが言っていました。制服の再利用など、あればいいなあと思いました。

→1点目については1参照。

→制服の再利用についてはPTA活動の1つとして、以前は行われていました。今後についてはPTAと連携し検討していきます。

5 紙でのお便りが、小学校に比べて依然多いので、もっとコドモンやメールなどを活用して、ペーパーレスや電子化を活用して欲しい。

6 コドモンの利用をもっと活用して欲しい。

→引き続きコドモンを利用し、ペーパーレス化に努めます。

7 中学校のセキュリティが少し心配です。

→防犯や不審者対策については教員間で共通理解をしたり訓練を行ったりしていますが、引き続き、生徒の安全を守るため、危機管理意識を高く持ち続けるよう努めます。

8 卒業生が校内に入れないのは何故ですか？

→防犯の関係上、玄関で氏名・用途等を確認後、校内に入っていますが、希望する教員等が校務のため不在の場合は時間がかかったり、改めて来校するよう伝えたりすることもあります。

9 行事の変更などは、決定前にまずは子どもにアンケート、次に親への連絡と承諾を徹底してください。トップダウン主導で進めないでください。

→学校では日頃より生徒の主体性を育む教育活動を授業や学校行事で行っております。引き続き各種通信やホームページで生徒の取組を保護者・地域の方へ発信していきます。

10 プールの時間を男女別にすることはできないでしょうか？

→水着の指定をせずに自由としていることで、できる限り配慮し、他の種目同様、国の定める男女共修の水泳指導に取り組んでいます。

11 ふらっとではなく、教室にいる時に、わからないと思った時に、個別にマンツーマンで勉強を教えてやってください。家で全く勉強やらない子になってしまいましたので、心配です。

→日頃より授業や家庭学習に関する質問等は昼休みや放課後に担任・教科担当が対応しております。定期テスト前は放課後、教室にて自主学習に取り組む生徒も多く、必要に応じて個別の指導をしております。またキュビナ（学習用端末における家庭学習の配信）については2学期も継続的に行っています。

12 いつもお世話になっております。子ども達の様子を見て面談をもうけて下さったり、コロナなどで学校に行けない時はすぐにタブレットなどを持ってきて下さったり本当に感謝しています。これから部活が地域スポーツになっていったりする所が今後どうなるのか少し不安があります。あと、PTAの役員会と部活の会合などが今後かぶさらないようにして下さいと助かります。

→部活動の地域移行等については、学校だより No.3（5月19日発行・HP掲載あり）でお知らせした内容が現状となっています。今後、新たな動向については小松市教育委員会と連携し、速やかに最新情報をコドモンで配信していきます。

→役員会や部活動の保護者会等については予め日時を教職員間で確実に確認・共有し、重ならないようにしていきます。

13 いつも丁寧な対応、授業等をしてくださり、ありがとうございます！

14 いつもご指導いただきありがとうございます。

15 担任と校長先生が自分達の意見を否定せずに聞いてくれたことが嬉しかったと話していたことがあります。多感な時期に頭ごなしに否定しかならないのは、今後の人格形成にも影響を与えかねないので、このような担任と出会えたのはすごく良かったと思います。

16 いつもありがとうございます。学校で発揮出来ない分、家では小荒れです☹️私は親なのでストレスを受け止めています。

たくさんのご意見を頂き、心より感謝申し上げます。これからも学校は子どもたちの成長を願い、職員一同、精一杯尽力して参りますので、どうぞ保護者の皆様のご理解・ご協力を頂きますようお願いいたします。